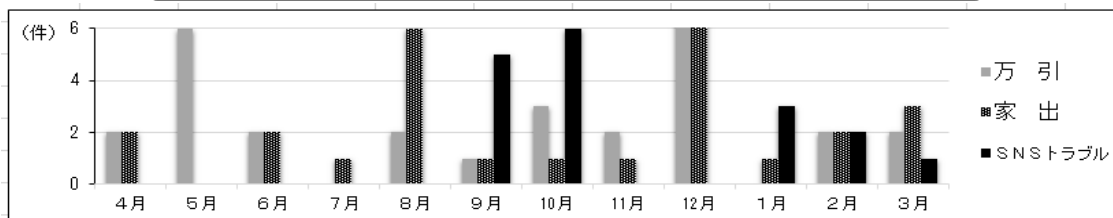


令和元年度 夏季休業中における生徒指導の重点

西部教育事務所

夏季休業に入るにあたって、児童生徒が安全に留意し有意義な生活を送るための指導や、2学期の始業式を迎える際、新たな目標をもってスタートできるような指導をお願いします。

平成30年度 主な問題行動の報告件数（西部管内）



万引や家出、SNSトラブルなどが、夏休みから2学期にかけて増加する傾向があります。

夏季休業に関する指導のポイント

○問題行動の未然防止

- ・ 夏季休業明けの家出の原因の1つとして、夏休みの課題の取組状況があげられます。課題について、児童生徒が計画的に取り組めるような支援を行っていきましょう。また、夏休み中の児童生徒の居場所づくりについても、学校・家庭・地域が連携し、共通理解を深めていきましょう。
- ・ マナーやルールの重要性について、児童生徒が自ら考える場面を設定したりして、児童生徒の規範意識を高めましょう。

※ 参考資料：「中学生非行防止プログラム・小学生非行防止教室（群馬県教育委員会）」（Webページよりダウンロードできます。）

○SNSトラブルによる被害・加害防止

- ・ 夏季休業中は特に、学校内の友達だけでなく、不特定の知らない人と関わりをもったSNS関係のトラブルが増加しています。次のような視点で家庭と連携した指導の充実を図っていきましょう。

- (1) 正しい利用方法や様々なトラブルについての対応
- (2) フィルタリングについての家庭への啓発
- (3) 家庭、学校、地域でのルール作りについての啓発

※ 参考資料：「おぜのかみさま（群馬県・群馬県警察）」、「インターネットトラブル事例集・インターネットトラブル事例 指導案（総務省）」（Webページよりダウンロードできます。）



○不登校等への指導・支援

- ・ 夏季休業明けは特に、不登校児童生徒が増加する傾向にあります。2学期のスタートをスムーズなものにするために、児童生徒が学業不振やいじめ、学級や部活動における人間関係に不安や悩みを抱えていないか再確認し、学校全体で情報を共有して具体的な対応策や役割分担を明確にしましょう。
- ・ 児童生徒の状態（全欠、30日以上長期欠席、短期的に欠席する傾向、別室登校など）を確認し、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携を図りながら、それぞれの児童生徒に合った支援を行っていきましょう。

※ 参考資料：「不登校児童生徒の自立へ向けて（群馬県教育委員会）」、「不登校対策資料（西部教育事務所）」（Webページよりダウンロードできます。）

○認め合い、支え合う教育の充実

- ・ 児童生徒の居場所づくりやいじめ防止に向けて、子供たちが、次のような視点で、認め合い、支え合いについて考える場面を設定しましょう。

- (1) 相手のことを大切に言葉の使い方などについて考える。
- (2) 悩みを抱えた時、自分自身がどうすれば良いのかや、周囲の人間は友達にどう声をかければ良いのかについて考える。
- (3) いじめの4層構造（被害者、加害者、観衆、傍観者）において、観衆や傍観者が、いかに相談者や仲裁者、通報者になれるかについて考える。

